

すぎなみ大人塾 ~自分を振り返り、社会とのつながりを見つける大人の放課後
夜コース

すぎなみソーシャル・デザイン塾・すぎなみをデザインする社会起業家になる

第二回 「5つの私ワークショップ」 07年7月4日(水) 19時より

講演：(株)三井物産戦略研究所 新谷大輔さん

始めに

最近の活動の多さに自分自身で戸惑いを感じています。7日は七夕ですが『言の葉さらさらプロジェクト』なる活動もしています。8月末までに七夕の願い事を短冊にして応募するサイトに係わっていますが、これも、皆さんと一緒に地域社会とのかかわりを持つことを考えて起こした活動です。

http://www.value-press.com/pressrelease.php?article_id=15575

短期的には、公立の小学校を「つながり」をキーワードに、子どもたちがいきいきと学校生活をおくれる様に、学校を変えてみたいと考えています。長期的には子どもが安心して暮らせる未来作りが夢です。

本日は、第二回目ですから、参加者のみなさんの自己紹介と「私デザイン」と「未来デザイン」シートの書き込みを通じて自分の存在を確認する作業をしてみたいと考えています。

1 本日の編成・・・6組(自由着席)

1) 事前に提出した自分を表現するキーワードを使いながら各組ごとに自己紹介をする。

<白クマさんチーム>

Aさん：1人暮らし・働くことが好き・おいしいものを食べ歩き

自分探しをしたい

Bさん：愛情・行動・好奇心

キャリアカウンセリング資格を使って根を張った活動をしたい。

Cさん：動物好き・過去は一切振り返らない・計画は実行に移すよう心がけ

犬・猫等の里親探しをする杉並動物共生ネットワークの活動をしている

Dさん：旭川・メンタルヘルス・凡夫

旭川より杉並に転勤、会社では人事で心のケア担当

Eさん：鳩(平和を愛する心を持ちたい)・ハト(ハートフル)・貝(口が堅い、口ベタ)

Fさん：天に任せる・めぐり合い・音楽で子どもの心を豊に育む活動

風の船（NPO）を通じて、思いやりに満ちた共生社会をつくりたい
東島信明：お菓子な私・昔話・紙芝居づくり
伝承されている昔話を紙芝居にする等、地域に入るツール作り活動を展開

<時間があつたので>

最近の会社について、仕事に追われて気持ちに余裕がなくなり、心のバランスを崩すケースが多々あり、職場の雰囲気(コミュニケーション・ラック)、仕事量・質、上司との関係(社員の使い方)等のあり方に話題が転じた。

2) 各組の代表者が自分の組の特徴を一言で表現する。

- ・杉並区の荻窪在住が多い ・知識意欲が旺盛 ・地域の人々となつなりたい
- ・全員女性で、自分の場所を見つけて地域の人々となつなりたい ・平和と動物、ココロやさしい人々 ・引越し歴が短いグループ

3) 大人塾07スタッフの紹介

●新谷大輔さん : つながり・盆踊り(阿波踊り)・讃岐人
東京ピクニッククラブの活動にも首を突っ込んでいます。ピクニックに行くことは家族や友人、地域の人たちと公園等で過ごす。その際、誰かと一緒なので新たなつながりが生まれる。そこから、自由に公園で寛げる考え方で出てくる、また公園の使い方から生活の仕方まで、さらに地域への思いまで議論が及ぶこととなります。(生き方、ライフスタイルに通じる)

<http://www.picnicclub.org/info.html>

- 中曽根聡さん : 一言で説明できない仕事・学童クラブ・環境教育
- 湊真澄さん : 好奇心旺盛、人間好き・セラピー系に興味・年齢不詳
- 秦 弘子さん : 瀬戸内出身・美術館・気功

2 あなたはどんな「私」を持っていますか？また、あなたの未来デザインは？

五つの「私」・・・家庭の私、地域の私、趣味サークルの私、会社の私、消費の場の私
現在の私を中心にしてシートに記入

<バンビチーム>

- 家庭：気ままに元気に暮らす。

子ども独立した後なので夫婦との対話を大切に
両親の世話に専念しているが、将来は子どもと一緒に暮らしたい。
生活を楽しめていない、自然環境のよいところで暮らしたい。
家族円満な生活と評価。
デイケアと小動物の世話。
主人に優しく、自然の中でゆったり暮らしたいが、今は働き社会貢献をしていく。

●地域：活動ゼロなので活動に熱中する自分を想像する。

大人塾をキッカケ、スタートにしたい。
転勤が続くが、各地域の方々とかかわりが持てるツールを得たい。
各種の講座作りを通じて、地域に入るツールを提供したい。
地域とのかかわりが目下ない、経験を生かして役立ちたい。
グループホームに出入りしている。
近隣の方々とお互いに助け合う、他人の幸せを喜ぶ生活をしたい。
愛犬パトロール等で地域の安心安全に貢献できればと考えている。

●趣味：同好の方々との趣味を作りたい。読書。

書道等の趣味を持つが何事も本気になれない性格だが、長く続けるうちにいろいろな方々と知り合うようにしたい。
妻の絵皿作りを元に工房をやりたい
多趣味だが自己完結的なものが多い、人と関われる趣味を高めたい。
定年近いので趣味を開発したい、社会に役立つ考えはあるが何ができるのか模索。

●会社：社員の心を癒すアプローチを心掛ける。

自分の好きな仕事で収入を得たい。
書籍の出版を年1冊ペースでやっていく。
持っている能力以上に出すようにやっている。
会社内で心病む方が多い、どうしたら安らぎを提供できるのか自分なりにアプローチしたい。

●消費：年金生活の中で消費欲をコントロールしたい。

東京はものが豊富、簡素な生活を望む。
マイバックを利用、地球環境を考えゴミは少なくの考え実践する私を描く。
自然食品購入、農芸高校の生産野菜等を週三回買い出しにいき、グループホームに提供、喜ばれる生活
消費するだけの生活に嫌気、シンプルな生活を選びたい。

- 3 今回から、参加者が持っているお奨め地域情報を提供することにします。ご紹介したい情報がありましたら事務局に事前届けてください。情報提供は資料でも口頭でも結構です。

< 知の市庭の東島信明から >

●気付き

杉並に伝承されてきた昔話があることを杉並中央図書館資料室で知ったことを契機に(広報すぎなみに 1984 年より 33 話掲載)昔話紙芝居を作りたいと考えた。

●つながり

すぎなみ地域大学 18 年度後期講座に応募し「すぎなみ昔話紙芝居講座」を開催(06 年 11 月より)。21 名の卒業生(07 年 2 月)が 5 回口演実施。紙芝居一座を結成し活動を続けている。

●発展

07 年 4 月杉並郷土博物館分館が天沼弁天池公園にオープン。分館のあり方検討会を通じて分館にふさわしい展示物を仲間と研究していた。

07 年 6 月に、一座等が中心となって、「すぎなみ昔話展&紙芝居口演」を 8 月末まで分館にて開催中。

●未来デザイン

杉並に伝承されている昔話があることを知った区民は地域を愛する気持ちが湧いてくると考えている。そこで東京都内等で昔話紙芝居講座づくり&口演をしたい、いろいろな地域にある昔話を発掘して、地域の方々が口演する地域ツールを開発したいと考えている。

その際に NPO と企業等との協働も模索する活動を展開する。

備忘メモ作成：東島信明